

宇宙生命哲学

ことばはじめ

62

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者 伊藤 俊洋

戦争と地球人

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックでは、2023年11月24日現在、80億人の人類の約10%が感染し、その9%が亡くなり、新しい変異株の出現も続いている。先進国は、知識と経験と国力を尽くして困難な危機に対応し、科学者は総力を上げてワクチンの開発に挑み、想像を遙かに超えるスピードで有効なワクチン開発に成功した。国体の違いにより、パンデミックへの対応の仕方の違いはあったが、曲がりなりにも、人類滅亡の危機は免れたといえよう。我が国でも、感染症法上の位置付けが二類から五類に下がり、社会生活は日常を取り戻した。この3年半の経験は、医療従事者、政治家、経済界、科学界など、全ての領域で働く人たちの努力の結晶であり、人類の財産である。とはいえ、COVID-19のヨーロッパやアメリカでの流行は、アフリカの人々の医療と生活を直撃し、COVID-19以外の感染症や栄養失調による命の危機さえ招いてしまった。

そして、人類は、今、大きな試練に立たされている。ミャンマー、アフガニスタン、ソマリア、イエメン、南スーダン、ロシアとウクライナ、エチオピアとエリトリア、シリアで続いている内戦や紛争に、パレスチナ・イスラエルでの紛争が加わった。人類は新たな無差別の殺戮の前に、なす術もなく立ちすくんでいる。



繰り返しになるが、地球上で、全ての生物は環境から生まれてきて、死ぬと様々な化学反応により分解されて、環境に還ってゆく。人類の文明社会は、時空を超えた巨大な物質循環の中に存在している。換言すれば、地球そのものが大きな環境生命体（宇宙船地球号）と考えることができる。人類は、国や地域を超えて、地球レベルで素敵な地球人として行

動するべき時にきている。素敵な地球人とは、国家・人種・民族・宗教・性別・貧富の差などを超えて仲良くし、あらゆる人権を尊重し、民族の多様性・生物の多様性を尊重し、無闇に水や空気や土壌を汚さない人、戦争をしない人のことである。地球環境から限らない恩恵を受けている人類には、地球環境を健全に保つてゆく重大な責任が課せられている。戦争は、地球環境を破壊する元凶である。

我々は、現在、戦争の虜になっている全ての指導者たちに対して、素敵な地球人として行動するよう、力を尽くして働きかけるべき時と考える。